

**在ナイジェリア大使館からの注意喚起**  
**(感染症：コレラの発生と拡大) (続報)**

●ナイジェリア北東部を中心にコレラの感染エリアが拡大しており, それに伴い罹患者も増大しています。昨年と比べ数倍規模の大きな流行となっており, 今後, 発生が在留邦人居住地域にまで拡大する恐れもありますので, 以降の関連情報への注意が必要です。

●コレラは, ヒトの排泄物からコレラ菌が入る, 経口感染症です。水や食事の十分な加熱処理をこころがけるとともに, 手洗いを励行してください。

在留邦人等の皆様へ

2018年7月11日  
在ナイジェリア日本大使館

## 1. コレラの発生状況

ナイジェリア北東部を中心にコレラが流行しており, NCDC (Nigeria Center for Disease Control, 国立疾病管理センター)の最近の発表によりますと, 本年6月22日までに患者数13,009名, うち死亡者116名(死亡率0.89%)が報告されており, 昨年同時期と比べ数倍規模の流行となっています。FCT (注: Federal Capital Territory, 首都アブジャを含めた「連邦首都地区」)でも少数ですが, 患者の発生が見られます。ラゴスではこれまでのところ, 発生の報告はありません。

しかしながら, 上記のとおり流行傾向もあり, 今後, 発生が在留邦人居住地域にまで拡大する恐れもありますので, 以降の関連情報への注意が必要です。

## 2. コレラについて

### (1) 感染源

コレラはヒトの排泄物からのコレラ菌による経口感染症です。そのため, 水や食事に対する注意が必要です。

(2) 症状

潜伏期間は数時間のこともあります。症状は重度の下痢です。「米のとぎ汁のような」便と表現されます。) 腹痛・発熱はなく、むしろ低体温になるとされています。急速に脱水症状をおこし、放置するとショックを生じます。

(3) 治療

下痢による脱水が致命的となりますので、十分な補水、輸液が必要となります。治療薬としてはテトラサイクリン系抗生物質が効果があります。

(4) 予防

ア 予防接種

日本で認可されている注射ワクチンは効果が期待できません。経口ワクチンは効果があるとされています。

イ 感染予防

経口感染ですので、水・食事は加熱処理をしっかりとするなど、十分に注意してください。

**(連絡先)**

○在ナイジェリア日本国大使館 (領事班/医務班)

電話 (代表) : +234-(0) 90-6000-9019, または, +234-(0) 90-6000-9099

(※代表電話が不通の場合) +234-(0) 80-3629-0293 (←休館日・閉館時間帯の緊急電話)

電子メール [visanigeria@la.mofa.go.jp](mailto:visanigeria@la.mofa.go.jp)

(了)